
Opposite world ～勇気の路～

REDPINE.K

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Opposite world 〈勇気的路〉

【Nコード】

N5229Z

【作者名】

REDPINE・K

【あらすじ】

時は未来。日本はだいぶ変わってしまった。力を持った王様を倒すためにある二人の男が立ち上がった。二人は力を得て、王様への復讐を目指す。その行方は…？

break out of escape from a breaker

今日もまた、いつものように鎖で結ばれたこの意味のない生活が始まった。

死のうにも死ねない。そんな生活。

時は3866年、そしてここは「竜神謙晶国」りゅうじんけんせいこく。昔は「日本」と呼ばれていたらしい。昔は外国との貿易などもやっていたこの「竜神謙晶国」はいまではある一人の王様の独立国家だ。更に国旗も変わり、

「日の丸」とか言うものから、黒と白の馬が殺し合いをしているという無様なものに変えられてしまった。ちなみにこれは王様のデザインだ。そんな時代にこのオレが何故生まれてきてしまったのだろうか。親が時々にくくなる。けれどそんなことを行っている時間も今のオレにはなかった。

みねぎしりゅうせい
嶺岸劉星。19歳。

オレは今、この国の「牢獄」にいる。なぜかというとオレの親父が騒ぎを起こしちゃったからだ。親父が騒ぎを起こしただけで、その家族も道ずれになってしまう。この法律も今の国王「セン・ペリン」が考えたものだ。

オレの親父その時酔っ払っていた。国が運営しているシャンポル、昔で言う「警察」というヤツに、国の文句を言ってしまったんだ。

「ふざけんな！こんな国！国王なんか死んじまえ！」と。
そのことはすぐにシャンポルから国王に伝わり親父は国王の怒りを買い、その後すぐに殺されたそしてオレ達家族は捕まった。

俺は親父を憎んではない。どちらかというと言ってくれてスカッとしたくらいだった。

食事時間にオレに一人の男が話しかけてきた。

「おい、君」やさしそうな叔父さんだった。

「何ですか？」

「君は脱獄したいとは思わないかい？」

そう言われて自分は今、叔父さんがなんと言ったのか分かっていても反射的に聞き返してしまった。

「な、何ですって!？」

「君は脱獄する気はないのか、と言っているんだ。あ、いや、別にいやだったら良いんだが・・・。」

オレの戸惑っている顔を見て叔父さんは弱気になってしまった。

でも、オレは戸惑っていたわけではなく余りにも嬉しくて、叫ばないように抑えることだけで必死だったただけだった。

「ぜ、ぜひしたいと思っています!!で、でも脱獄なんかそんなに簡単に出来るもんじゃ・・・ないんじゃないですか？」

「方法がなけりゃオレもこんなこと聞いたりしねえよ。もう一度改めて聞く。お前さんはオレと組むか？」

組んで一緒に脱獄するか?する勇氣はあるか?」

たくさんの質問があったが、そんなこと聞いていなかった。答えはひとつだった。

「お願いします!!」

「よし!他のやつらは王様に殺されてしまう!とかいって、逃げてたんだがな。お前、強いな!あ、そうだ自己紹介がまだだったな。オレの名前は横山惣次郎。よろしくな!」

すぐく気分がよかった。自分も名前を言って、そこからオレ達二人の脱獄計画が始まった。

まさか脱獄からアンナ大きなことになるとはその時思いもしなかった

たんだ。

牢獄の中で計画を立てるのは思った以上に困難なものだった。

朝は四時に起床し、囚人全員で四時五分からラジオ体操第一、第二をする。

そしてそのあと歯磨きなどをして四時半から朝食。三十分後に「国際牢獄〜ジャンレノ〜」と言った名前のブランド品を作る仕事を始める。

このブランドは囚人が作ったものだというのが何故だか知らんが、国民に大評判のブランドだった。このブランドには机やいすからシヤープペンシル、電気、車、野菜やフルーツまで、ここの物で手に入らないものはないくらい、充実している。ココまで充実しているのは家族のうち一人でも王様の機嫌を損ねることをすれば全員が捕まってしまうという法律があるからだ。

また、その仕事のあとに、十二時から三十分間の昼食をとる時間を与えられ、その後再び仕事に戻る。そして九時から三十分間の夕食を済ませ、最後に十二時の就寝時間まで再び働く。

ソナナ生活なため、計画を立てられる時間は、食事の時と就寝時間のみだった。就寝時間はただでさえ短いため少ししか使えなかった。

しかし早く脱獄したいという気持ちだけで計画はズンズン進み、ついに脱獄の日になったんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5229z/>

Opposite world ～勇気之路～

2011年12月17日19時52分発行